



教材事例書式

教材教具名 「うがい受け升くん」	日常生活の指導	
<p>教材教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい うがい時に、高い位置から水を吐いて、周囲に水をちらせてしまう癖がついてしまっていたため、小さな的をつくりその中に水を吐き出すことで、前かがみの姿勢で口に含んだ水を吐き出す行為を習慣化する。</p> <p>2 発達段階 理解言語(1歳) 運動(3:10歳) 操作(1:08歳) しつけ(4:08歳) 総合発達年齢(1:08歳) ……KIDS( TYPE T )</p> <p>3 使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流しの前面にかけた「受け升」を水道蛇口のやや横に置き、うがいの後、「受け升」の中に口に含んだ水を吐き出す。</li> </ul>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>初めは、「受け升」(ペットボトルの底)に開けた穴が小さく、水がたまってしまい本人が水を出しながら使う事態になってしまったが、大量に水を注いでも、すぐに水が流れ出るように改良したところ、すぐに使えるようになり、これがあるところでは、きれいな姿勢でのうがいが定着している。</p>		